

平成27年（2015）9月 入域観光客数概況

9月の観光客数は、72万4,700人
対前年（H26）同月比 +6万6,000人、+10.0%
～3ヶ月連続で70万人超、9月の過去最高を記録～

入域状況

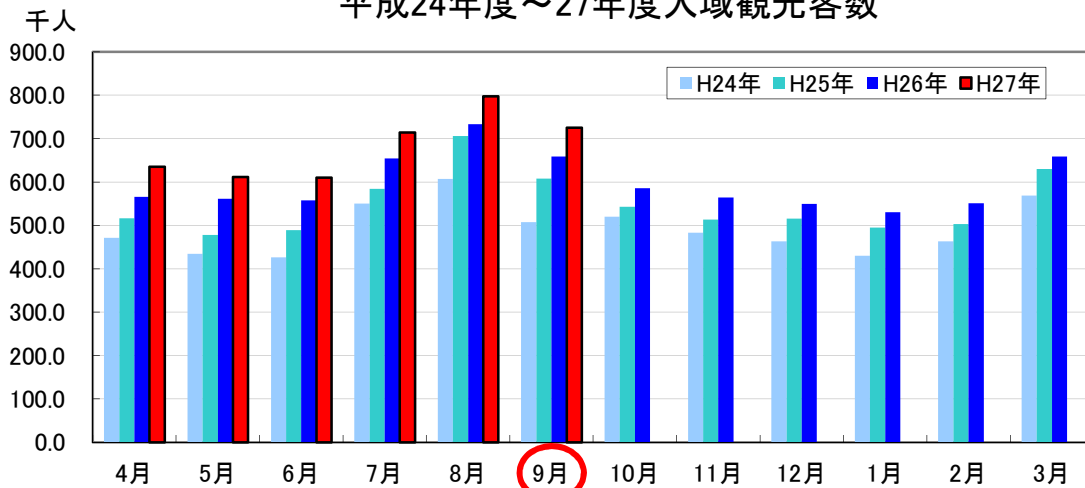
入域観光客数（平成26年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
国内客	575,100 人	558,800 人	+ 16,300人	+ 2.9%	79.4%
外国客	149,600 人	99,900 人	+ 49,700人	+ 49.7%	20.6%
合計	724,700 人	658,700 人	+ 66,000人	+ 10.0%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成26年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
国内客	575,100 人	558,800 人	+ 16,300人	+ 2.9%	81.2%
外国客	132,800 人	84,700 人	+ 48,100人	+ 56.8%	18.8%
合計	707,900 人	643,500 人	+ 64,400人	+ 10.0%	100.0%

平成24年度～27年度入域観光客数



国内客 入域状況

9月は、台風による影響があったものの、シルバーウィークにおける旅行需要の高まりにより、同期間を中心に各方面ともに好調に推移したことにより、前年を上回った。

10月以降は、引き続き、各航空会社の航空路線の拡充や、11月に福岡及び名古屋方面から離島への直行チャーター便が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

9月は、中秋節の連休による旅行需要の増に加えて、航空路線の拡充、クルーズ船の寄港回数増加により、空路・海路ともに好調に推移し、前年を上回った。特に中国と韓国の伸びが顕著であった。

10月は、国慶節等の連休があるほか、クルーズ船の寄港回数の増加予定及び韓国のLCC2社による相次ぐ新規就航が予定されていることから、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。シンガポールからのチャーター便が予定されており、主要方面以外からの入込も期待できる。

国内客 地域別入域状況

区分	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	289,000 人	285,100 人	+ 3,900人	+ 1.4%	50.3%
関西方面	126,000 人	117,900 人	+ 8,100人	+ 6.9%	21.9%
福岡方面	71,400 人	65,400 人	+ 6,000人	+ 9.2%	12.4%
名古屋	40,700 人	40,500 人	+ 200人	+ 0.5%	7.1%
その他	48,000 人	49,900 人	△ 1,900人	△ 3.8%	8.3%
合計	575,100 人	558,800 人	+ 16,300人	+ 2.9%	100.0%

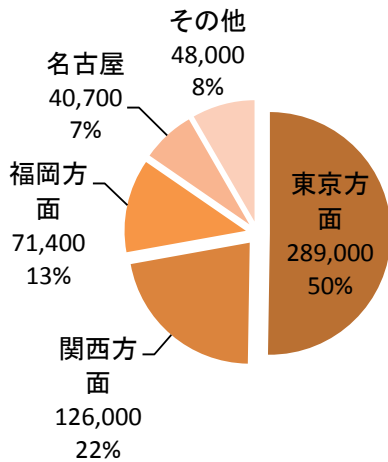
※国内海路客2,500人を含む(鹿児島2,500人)

外国客 国籍別入域状況

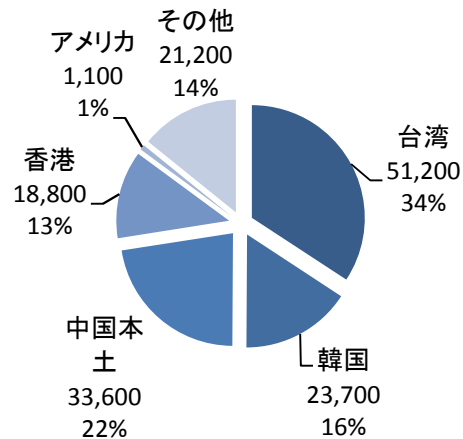
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H27年度	H27年度	H26年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	51,200 人	51,200 人	43,000 人	+ 8,200人	+19.1%	34.2%
韓国	23,700 人	23,700 人	11,000 人	+ 12,700人	+115.5%	15.8%
中国本土	33,600 人	33,600 人	12,600 人	+ 21,000人	+166.7%	22.5%
香港	18,800 人	18,800 人	13,000 人	+ 5,800人	+44.6%	12.6%
アメリカ	1,100 人	1,100 人	900 人	+ 200人	+22.2%	0.7%
その他	21,200 人	4,400 人	19,400 人	+ 1,800人	+9.3%	14.2%
合計	149,600 人	132,800 人	99,900 人	+ 49,700人	+49.7%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	38,500 人	38,500 人	+44.2%	36.9%	12,700 人	12,700 人	△22.1%	28.0%
韓国	23,700 人	23,700 人	+117.4%	22.7%	0 人	0 人	-	0.0%
中国本土	22,400 人	22,400 人	+166.7%	21.5%	11,200 人	11,200 人	+166.7%	24.7%
香港	14,900 人	14,900 人	+24.2%	14.3%	3,900 人	3,900 人	+290.0%	8.6%
アメリカ	1,000 人	1,000 人	+42.9%	1.0%	100 人	100 人	△50.0%	0.2%
その他	3,800 人	3,800 人	+18.8%	3.6%	17,400 人	600 人	+7.4%	38.4%
合計	104,300 人	104,300 人	+68.5%	100.0%	45,300 人	28,500 人	+19.2%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

9月は、台風による影響があったものの、羽田－石垣路線等で入込増となり、シルバーウィーク期間を中心に好調に推移したことから、前年を上回った。

10月以降は、各方面との競合が懸念されるが、ANAの羽田－石垣路線の期間増便が予定されていることや、旅行商品の予約状況が好調となっていること等から、堅調に推移する見込み。

大阪

9月は、台風による影響があったものの、各航空会社による航空路線の拡充や、期間運航の関西－宮古路線が好調を維持し、シルバーウィーク期間を中心に好調に推移したことから、前年を上回った。

10月以降は、各方面との競合が懸念されるが、宿泊や離島旅行の助成を行うふるさと旅行券事業の販売が開始され、誘客に期待できること等から、好調に推移する見込み。

福岡

9月は、ピーチアビエーションの福岡－那覇路線の増便を含む各航空会社による航空路線の拡充や、旅行商品がシルバーウィーク期間を中心に好調であったこと等から、前年を上回った。

10月以降は、引き続き、航空路線の拡充や、11月に福岡－宮古島への直行チャーター便が予定され、予約状況が好調となっていること等から、好調に推移する見込み。

名古屋

9月は、各方面との競合が懸念されたものの、シルバーウィーク期間を中心に好調に推移したことから、前年をやや上回った。

10月以降は、引き続き、各方面との競合が懸念されるが、各旅行会社による旅行商品の造成・販売の取り組み強化がみられ、11月に名古屋(小牧)－久米島への直行チャーター便が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

台湾

9月は、台風の影響で航空便やクルーズ船に一部、欠航が生じたものの、前年同月に比べて航空路線の拡充により、空路客を中心に増加し、前年を上回った。

10月以降は、国慶節の連休による旅行需要や、引き続き、航空路線の拡充や、例年より2ヶ月長い12月までのクルーズ船の寄港が予定されていること等から、順調に増加する見込み。

韓国

9月は、ピーチ・アビエーションのソウル－那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充や、ソウル－那覇及び宮古島へのチャーター便の好調等により、前年を上回った。

10月以降は、ハングルの日の連休による旅行需要に加え、イースター航空のソウル－那覇路線やチェジュ航空の釜山－那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充が予定されていることから、順調に増加する見込み。

中国本土・北京

9月は、中秋節の連休による旅行需要の増に加え、前年同月に比べて北京－那覇路線の増便等による航空路線の拡充から空路客が増加し、前年を上回った。

10月以降は、国慶節の連休による旅行需要や、引き続き、航空路線の拡充や、天津地域からの旅行商品の造成・販売の取り組み強化がみられること等から、順調に増加する見込み。

中国本土・上海

9月は、台風の影響でクルーズ船に一部、欠航が生じたものの、引き続き、前年同月に比べて上海－那覇路線の増便等による航空路線の拡充、上海及び厦門発クルーズ船の寄港があったことにより、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。

10月以降は、引き続き、航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港が予定されていること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

香港

9月は、中秋節の連休による旅行需要の増に加え、前年同月に比べて香港－那覇路線の増便による航空路線の拡充や、香港発クルーズ船の寄港があったことにより、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。

10月以降は、引き続き、航空路線の拡充やクルーズ船の寄港が予定されていること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。